

遊佐高校魅力化通信

【第五号 2020年10月】



たいよう
澁谷太陽さん

遊佐高校2年 生徒会長

生徒にインタビューシリーズ第1弾！

今回は、遊佐高校、新生徒会長の澁谷太陽さんに高校生活のあれこれを聞きました。
彼が遊佐高校で経験していること、そこから描く未来について！！

晴也 記念すべき1回目のインタビューになります！まずは軽く自己紹介から。

太陽 はい。遊佐中学校卒、遊佐高校2年の渋谷太陽（たいよう）です。よろしくおねがいします。

晴也 はい、お願いします！さっそくなんですが、太陽くんはどうして遊佐高校に進学したんですか？

太陽 僕は介護職員初任者研修の資格が取りたくて遊佐高校に入りました。卒業したら介護士になりたいと思っていたので。

晴也 介護士！それは何かきっかけがあったんですか？

太陽 中学2年生のときに、介護の仕事をしている人から話を聞いたときに「カッコいい」と感じたのと、これからの時代でどんどん必要になってくる仕事だと感じたからです。もともとおじいちゃんや、おばあちゃんが好きなものもありますけどね。なので、高校1年生のときは、遊佐町社会福祉協議会の介護職員初任者研修を取得する講座をとってました。毎週土曜日に開講される講座を受けてテストを受けて、といった感じです。無事合格しました。

晴也 おー良かった！
そして2年生になってデュアル実践が始まった感じですね？

デュアル実践とは!?

働くってなんだろう。働く楽しさや厳しさを知るため、約半年間毎週水曜日企業に勤務する遊佐高校独自の超実践型のインターンシップです。

太陽 そうですね。2年生になってからは「デュアル実践」という授業で介護施設である特別養護老人ホーム ゆうすいさんでインターンをさせてもらってました。ゆうすいさんでは、お茶出しだったり、利用者さんとお話したり、ちょっとした事務作業等をさせてもらったりしてました。七夕のときはイベントをしてカメラマンをしたり、その写真を使って広報を作らせてもらったりもしてました。

晴也 なるほど。通う中で様々なことさせてもらったのね。ちなみに、その活動の中で楽しかったことは何でしたか？



◀ インターン先で練習した折り紙を披露する太陽くん

太陽 全体的に楽しかったです。感謝されるのが本当に多くて介護士の一つのやりがいだなあと感じました。折り紙をする機会があったんですけど、全く折れなくて。なので家で練習しました。利用者さんと一緒に教えながら折るんですけどとにかく感謝されるんです。「ありがどの〜」って。

晴也 それはめっちゃいい話だねえ。折り紙も努力したの太陽くんらしいね。逆に苦労したこととかはある？

太陽 苦労したのは、言語ですね、方言。僕は遊佐で育ったのである程度の方は聞き取れると思ったんですけど、利用者さんは本当になまっていて、「かかと」のことを「あぐと」っていたり「水」のこと「も」っていたり、もう訳がわからなかったです。むしろ標準語が通じなくてはじめは大変でしたね。たださえ、意思疎通を図るのが難しい方もいらっやっしたので。僕も利用者さんに合わせて方言を使っていました。相手がどんなことをしたいのか汲み取れるよう、努めたりしてました。これは実際に経験してみないとできなかった発見だったし今後の課題でもあります。

晴也 方言か。確かに苦労しそう。その中で自分も方言を使うって素敵だね。適応力もすごい。半年間、計10回のインターンだったと思うんだけど、一番の思い出はなんですか？

おもわぬ「感動」と 福祉の「やりがい」

太陽 そうですね…。一番は利用者さんに名前を覚えてもらえたことですか。

一週間に一回ペースでインターンさせてもらっていたんですが、たくさんの方に名前を覚えてもらって声をかけてもらったのは思い出ですね。福祉関係の仕事全般のやりがいだなと感じました。

特に利用者の方で認知症の方がいらしたんです。その方は職員の方も覚えていない方だったんです。なのに僕のことは名前も覚えてくださったんですよ。職員の方もびっくりしていました。僕も本当に嬉しかったです！！
またある方は、最後の日に別れが惜しいと泣いてくださった方もいました。これには僕もびっくりしました。

晴也 (涙)
すいません、涙もろくて。めちゃめちゃ素敵な話！！ありがとう、感動しました。

晴也 さていよいよ、終盤です。中学校で介護士を志し、実際に介護施設でのインターンも終えた太陽くんですが、遊佐高校を卒業した後の進路はどんな予定なんですか？

太陽 卒業後は介護の専門学校に2年間、通ったのち、遊佐町に帰ってきて介護士になりたいなどと思っています。いろんな資格もとっておきたいですね。

晴也 遊佐の介護士になりたいところがポイントですね。
ちなみにどんな介護士になりたいんですか？

夢は「面白い介護士」

太陽 んー、「面白い介護士ですね」

ゆうすいにいたんですよ。みんなが仕事しやすいように職場を盛り上げてくれる方でした。介護はみんなで協力していかなくやならない仕事なので職員が暗いと利用者さんも嫌だろうし、職員同士が楽しく働ける環境づくりが大切だと思っています。なので、職員も利用者も笑顔にできる「面白い介護士」になりたいですね。

晴也 なるほどー！ありがとうございます。終始キラキラ話してくれてありがとうございます。眩しかったです。



インタビューを終えて

地域と連携して取り組んでいるデュアル実践はこんな感動と経験がある場なのかと、感動して思わず泣きそうになりました。高校生活も謳歌しつつ、素敵な介護士になってほしいです！

また、インタビューに協力してくれた太陽くん、そしてデュアル実践の受入企業のゆうすいを始めとする企業のみなさま、たくさんの方の経験と感動をありがとうございました。

(地域おこし協力隊 鈴木晴也)

お昼休みに、新しい景色。 遊佐高校パンプロジェクト



先月、遊佐高校のお昼休みが変わりました。8/26より正式に「パン屋 小むぎ」さんのパンのお届けサービスが遊佐高校ではじまり、昇降口が賑わいました。当日は小むぎさんの一周年記念でもあり、サプライズでぬいぐるみとパンの感想の寄せ書きを贈らせていただきました。小むぎさんの店舗でご確認ください！

このプロジェクトは「学校で美味しいが買えたらすてきじゃん！」から始まりました。今年度に入ってから本格的に動き出し、とてつもないスピードで実現しました。

★「広報 ゆざ 10月号」12Pにも掲載しております。ぜひ御覧ください。

遊佐高魅力化通信とは！？

遊佐高校って、実は
県外からの入学者がいるくらい
めっちゃおもしろい高校なんです！
知ってましたか！？
そんな魅力ある遊佐高校や
その生徒の活動を発信する通信です！

メッセージお待ちしてます！！

一緒にこんな企画してみたい！！などのご意見、感想等お待ちしております！

Mail : hareruya0314gty@gmail.com
(地域おこし協力隊 鈴木)

Tel : 0234-72-5891

(遊佐町教育委員会)

まちやいなよ、まちやいなよ、 遊学生
ゆざまち ゆざこう note

